

資料1 6 本時の指導（第4時）

(1) 目標

積極的に英語を使って、目的地への行き方を尋ねたり、分かりやすく道案内したりして、楽しみながらコミュニケーションを図る。

(2) 準備 CD デッキ、テレビ、地図、建物の絵、ヒントカード、スタンプ、シール

(3) 展開

学習活動	教師の支援（・）と評価（□）
<p>1 あいさつをする。 ○ Let's start English time. ○ Hello. everyone. How are you?</p> <p>2 英語の歌を歌う The Beatles 「hello goodbye」</p> <p>3 建物の名称を振り返り、案内のチャンツを行う。 T What's this? C (It's the) Ryuzenji temple. チャンツ「Where is ～。」</p> <p>4 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>外国語で道案内をしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語であいさつを交わすことで、英語で授業を行おうとする雰囲気づくりをする。</li> <li>・楽しく英語の歌を歌うことで、英語を学習しようとする意欲を高める。</li> <li>・チャンツを行い、リズムに合わせてフレーズを言い、「Where is～」のフレーズを言い慣れるようにする。</li> <li>・実際に歩いて道案内ができるように体育館に簡単な町を作る。町には7カ所程度の目的地となる場所（公園・コンビニなど）を用意しておく。</li> </ul>
<p>5 ゲームのルールを説明する。 〈ルール〉</p> <p>①道を尋ねる子(A)、道を案内する子(B)にわかる。(Bはビブス着用)</p> <p>②Aは自分の目的地を案内してくれる友達を見付け案内してもらう。</p> <p>③Bは建物の道案内を一緒についていながら説明する。 (この時、Aが先頭で、Bは後ろから指示をする)</p> <p>④無事に案内ができたなら、Aはカードにスタンプを押し、Bにお礼を言って、シールを渡す。</p> <p>④AとBを交代する。</p> <p>6 道案内をする。 A Excuse me. Where is the ～? B (Ok. follow me/Ok. Let's go.) B Go straight. Turn right... Here!! A Thank you very much. B You're welcome.</p> <p>道を間違えた時 I'm sorry. go back please.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを募って、TとCで示範し、事前に道案内のルールを確認する。</li> <li>・道に足跡マークを付け、Hi friends2の内容と同様に「go straight」で1つの足跡へ進むように指示する。</li> <li>・Bにマップを渡し、案内をする子供だけがどこにどんな建物があるかが分かっていることにする。そうすることで、AにBの指示を聞く必要感を持たせる。</li> <li>・道案内のフレーズを忘れてしまったり、言えなかったりする子供のために、そのフレーズの書かれた紙を、体育館の側面に掲示しておく。</li> <li>・できるだけたくさんの人に道案内ができるようにカードには、シールを貼る箇所が複数用意しておき、意欲化を図る。</li> <li>・B役の子で、Aがいない、A役の子にうまく説明できない子供には、教師がA役になったり、フレーズや単語を言ってそれを復唱させたりする。</li> <li>・楽しみながら道案内をしている子や積極的に活動している子を称揚して、さらに楽しめるよう導く。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>目的地への行き方を尋ねたり、わかりやすく道案内したりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> </div>
<p>7 本時の振り返りをする。</p> <p>8 終わりのあいさつをする。 Good-bye. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りに本時の感想を書き、書いた児童に発表させる。</li> </ul>

